

ロシア・中東欧言語文学関係の国際学会参加記録

2014年～2015年にかけて、ロシア・中東欧言語・文学関係の国際学会のうち、現代文芸論研究室教員および関係者が参加した主なものを以下に挙げる。

ワークショップ「東アジアにおけるロシア——想像力、交流、旅、翻訳」(Russia in East Asia: Imagination, Exchange, Travel, Translation)

会場 コロンビア大学 (アメリカ合衆国)

期間 2014年2月27～28日

主催 コロンビア大学ハリマン研究所、ウェザーヘッド東アジア研究所、スラヴ歴史文化大学セミナー
東アジア(日本・中国・韓国)におけるロシア文学の受容と翻訳を中心に、ソ連＝中国の文学関係、東アジアにおけるトルストイ、など様々な側面を多角的に検討する国際ワークショップ。約20名の専門家が報告者およびディスカッサントとして参加した。沼野充義が招待を受け、報告“The Role of Russian Literature in the Development of Modern Japanese Literature from the 1880s to the 1930s: Some Remarks on its Peculiarities”を行った。

国際学会「第13回バルカン学会」Балканские чтения 13

会場 ロシア科学アカデミー・スラヴ学研究所 (モスクワ、ロシア)

期間 2015年4月7日～9日

主催 ロシア科学アカデミー・スラヴ学研究所主催

ロシア科学アカデミー・スラヴ学研究所言語文化研究センター「バルカン学」が組織した国際学会。約30名のバルカン地域の研究者が報告者として参加した。現代文芸論の協力教員である三谷恵子(スラヴ語スラヴ文学)が報告「„Начело премудрости...” i južnoslavenski prijevizi priče Slovo Akira premudroga」で南スラヴ地域における『賢者アキル』写本について、また亀田真澄が報告「Yugoslav Reproductions of Heroes: Making National Icons through Photography」でユーゴの戦争英雄の写真について議論した。

第3回文学翻訳者国際会議(III Международный конгресс переводчиков художественной литературы)

会場 全ロシア国立外国文献図書館、プーシキン博物館他 (モスクワ)

期間 2014年9月4日～7日

主催 翻訳研究所 (モスクワ)

多くの組織・基金の協力によってモスクワに創設された翻訳研究所が、ロシア連邦出版・マスコミュニケーション局の後援を受けて行った、翻訳をめぐる大規模国際会議。総合テーマは「文化外交の手段としての翻訳」。世界55カ国から200名のロシア文学翻訳者・文学研究者・文学エージェント・出版社が招待された。研究報告総数は250にのぼる。東京大学大学院人文社会系研究科から奈倉有里、沼野充義が招待を受けて参加した。

国際学会「20世紀の詩と政治——ボリス・パステルナーク、その家族、そして小説『ドクトル・ジヴァゴ』」(Poetry and Politics in the 20th Century: Boris Pasternak, His Family, and His Novel *Doctor Zhivago*)

会場 スタンフォード大学 (アメリカ合衆国)

期間 2015年9月28日～10月2日

主催 スタンフォード大学スラヴ語スラヴ文学科・フーヴァー研究所図書館・文書館

パステルナーク専門家として高名なラザリ・フレイシュマン (Lazar Fleishman) 教授が中心になって組織した、パステルナーク研究史上おそらく最大の国際学会。5日間にわたって50名近くの専門家が報告した。沼野充義が報告“Pasternak in Japan: Reception and Translations”を行った。

国際学会「第47回 ASEEEES (スラヴ東欧ユーラシア学会) 世界大会」

会場 フィラデルフィア・マリオット・ダウンタウン (フィラデルフィア、アメリカ)

期間 2015年11月19日～22日

主催 ASEEEES (スラヴ東欧ユーラシア学会)

例年アメリカで開催される、ロシア東欧研究の国際学会。当該分野においてはもっとも大規模な国際学会のひとつで、第47回大会には47カ国から2287人が参加し、パネル数は445、ラウンドテーブル数は136であった。亀田真澄がパネル「Hello, Earth’: Soviet Space Television in the Context of the Cold War」を組織し、報告「Soviet Cosmvision: First Live Broadcasts from Outer Space」を行った。

国際学会「世界各国におけるロシア文学史」(Международная конференция «Национальные истории русской литературы»)

会場 首都師範大学 (北京、中国)

期間 2015年11月23日～25日

主催 北京スラヴ研究センター、北京プーシキンスキー・ドーム、首都師範大学外国語研究所、中国ロシア文学研究会

北京スラヴ研究センター長であるロシア文学者、刘文飞 (Liu Wenfei) 教授が組織した国際学会。このテーマによる国際学会はおそらく世界初。ロシア、イギリス、イタリア、スペイン、ドイツ、韓国からも研究者が招待された。報告し、討論に参加したロシア文学研究者総数は約40名。沼野充義が報告“К изучению истории «истории русской литературы» в Японии) (「日本における『ロシア文学史』の歴史研究に向けて)」を行った。